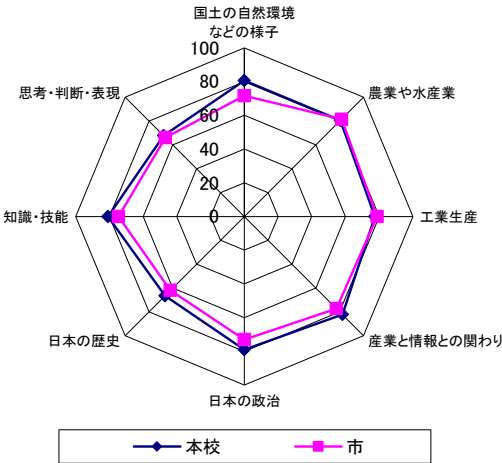


宇都宮市立東小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	80.6	71.6	67.5
	農業や水産業	80.6	81.5	82.1
	工業生産	77.4	78.7	70.8
	産業と情報との関わり	82.3	77.2	68.2
	日本の政治	79.0	73.1	77.9
	日本の歴史	66.5	62.0	65.8
観点別	知識・技能	80.9	74.6	74.5
	思考・判断・表現	67.7	66.2	65.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境 などの様子	平均正答率は80.6%であり、市の平均を9.0ポイント上回っている。 ○「日本の主な地形の名称と位置の理解をもとに、地図を読み取っている」について、71.0%であり、市の平均を33.9ポイント上回っている。 ●「資料に着目して、森林の働きを捉え、表現している」について、74.2%であり、市の平均を2.9ポイント下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・様々な機会に地図や地球儀で地形や位置を確認してきた成果が見られたので引き続き指導を継続する。 ・資料から森林の有無によって地表を流れる雨水の違いについて、数値を読み取る力を育てるとともに、表やグラフ等から必要な情報を収集する際のポイントについても指導する。
農業や水産業	平均正答率は80.6%であり、市の平均を0.9ポイント下回っている。 ○「地産地消の取り組みを理解している」について、正答率は90.3%であり、7.8ポイント上回っている。 ●「カントリーエレベーターについて理解している」について、正答率は67.7%であり、市の平均正答を14.8ポイント下回っている。	・農産物の産地や地産地消等については、今後も実生活との関連を踏まえて指導する。 ・様々な農産物の生産過程における特徴的な事項については、写真や映像等を通して、より理解を深めていく。
工業生産	平均正答率は77.4%であり、市の平均を1.3ポイント下回っている。 ○「日本の輸出品の資料を読み取っている」について、正答率は87.1%であり、5.6ポイント上回っている。 ●「キャリアカーと船に着目して、自動車の出荷の工夫を捉え、表現している」について、正答率は54.8%であり、市の平均を7.4ポイント下回っている。	・自動車の製造行程における基本的な作業内容について再確認するとともに、身の周りの工業製品についても取り上げて関心を高めていく。 ・陸路や海路での輸送手段のよさや課題を整理することで、自動車の輸送手段についても理解を深めていけるよう指導していく。
産業と情報との関わり	平均正答率は82.3%であり、市の平均を5.1ポイント上回っている。 ○「メディアの特徴を理解している」について、正答率は93.5%であり、市の平均を1.8ポイント上回っている。	・実生活と関連させながら、状況に応じて適切なメディアを選択できるよう、引き続き指導する。 ・身の回りの様々な場面で情報が活用され便利になっていることを理解するとともに、その適切な活用方法等についても指導する。
日本の政治	平均正答率は79.0%であり、市の平均を5.9ポイント上回っている。 ○「図に着目して、国民による政治の仕組みを判断している」について、正答率は61.3%であり、市の平均を11.3ポイント上回っている。 ●「税金について理解している」について、正答率は80.6%であり、市の平均と同程度である。	・国会、内閣、裁判所の各役割について、本やネット等を活用して調べたり、新聞やTVでの時事問題を取り上げたりするなどより理解を深めていけるよう指導する。 ・税金の基本的な事項について復習するとともに、実生活と税金との関連を調べたり、出前講座等を活用したりするなど、自ら関心を高めていけるよう指導する。
日本の歴史	平均正答率は66.5%であり、市の平均を4.5ポイント上回っている。 ○「鎌倉幕府が置かれた場所の資料を読み取っている」については、正答率が80.6%であり、15.8ポイント上回っている。 ●「江戸幕府による大名支配について、適切な見出しを判断している」については、正答率が58.1%であり、市の平均を8.6ポイント下回って課題が見られる。	・各時代の特徴的な事柄や人物、文化的な遺産等について、資料や映像等を通して学習を深めていく。 ・各時代の政治の仕組み等について、基本的な事項を復習するとともに、各時代の特徴について比較したりするなど、より理解を深めていけるよう指導する。